

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 央福社会	代表者	中川 佑治	法人・事業所の 特徴	法人理念である「やさしい気配り 親思う 慈しみの心」を基本に、利用者一人一人が自分のペースで過ごせるよう、利用者の声を大切にし、主体的に過ごせるよう対応している。利用者の変化にも、すぐ気づき対応できるようスタッフ間の連携を図り情報交換・共有に努めている。 また、当ホームは、法人の理事長が元々住んでいた場所でもあり、名前も屋号からである。そういった部分を活かしながら、地域の行事にも積極的に参加している。また、ホーム内にて地域つどい事業を開催し、地域住民との交流を図り、地域に根付いていけるよう取り組んでいる。
事業所名	小規模多機能ホーム かめやん家	管理者	小池 愛		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	1人	1人	人	2人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	ミーティングなどを通じて、スタッフ間の共有をしっかりと行い、皆がおんなじ方向を向いて取り組んでいく。ご利用者のことを考え、「日々笑いのある生活」を作れるように取り組む。出来ることや出来ないことを、それぞれの考えを共有していけるよう取り組む。	ミーティングや日々の業務の中で共有すること、取り組んでいくことを心かけた。	○職員間での意識向上を考えて努力されてると思いますが人員にも限りがあり目が届かないところが発生すると思うので時間をかけて一つずつ努力をお願いします○改善計画を積極的に取り組まれている○かめやん家新聞でご利用者の楽しそうな表情が見れてよかったです○日々多忙な中ですが、ご利用者の日々の行動を報告しながら共有し合うことをお願いします○月間ごとにテーマを全体で共有してはどうか	○ご利用者の日々の行動を共有していくこと、具体性を持ちながらテーマを共有して取り組んでいく
B. 事業所のしつらえ・環境	玄関は施設の顔であることを全スタッフが意識をしたうえで、環境を整えていく。また、玄関の花壇は地域の方がいつもきれいに作って下さり、昔とは比べ物にならないくらい生き返り、通行人も足を止めて見ておられます。そのような環境作りをして下さりとても感謝しています。それを当たり前と思わず、全スタッフが利用者や訪問された方に、居心地が良いと思っただけの環境を作る。また日中は玄関も開放していますが、防犯面でも不安という声があるので、ご家族への理解もしていただけるよう努めていく。	玄関の環境整備は行っていたが、個々の意識の違いで整備できていないこともあった。防犯面においては現在も日中は玄関は開放しているが、ご家族への配慮も行いながら必要に応じて施錠するなど対応出来るように鍵に設置を行った。	○居室内は常に整理されており掃除も行き届いています○小規模ならではのアットホームな感じがいいです○見た目からは良い感じがして明るい雰囲気が感じられます○事業所が住宅街の入り組んでいる中にあるのでわかりやすい目印があればいい○玄関の上り框の段差が気になります、ご利用者が扉を開けた時にわかる工夫があればいいと思います	○ご利用者の「明るく笑顔が感じられる」環境作りに努める ○事業所の場所がより多くの方々に知っていただけるような目印を作成するなど工夫をする ○玄関の上り框の段差解消の工夫を行う

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>コロナウイルス感染症の状況にもよるが、感染症対策をきっちりとし、地域行事への参加や事業所内での地域行事が再開できるよう準備をしていきたい。また、地域とも連携し地域交流をよりよいものにしていきたい。</p>	<p>コロナ感染症5類になって以降、少しずつ戻ってきた地域行事において、ホームでも少しずつ参加を行ってきた。また行事だけでなく、地域の方との関わりも、日頃から行うよう心掛けてきた。事業所で開催する行事については、まだ実施できる環境でない為見送りとなっている。</p>	<p>○コロナ5類になり地域のイベントにも参加しようと努力されるようになりましたが、まだまだ時間がかかる感じですよ○地域の関わりについてはこれからも情報を流しますが参加できるチャンスがあればお願いします○面会時、スタッフが忙しくても笑顔で挨拶をしてくれるので安心感があります○挨拶はしてくれる方とそうでない方がいます</p>	<p>○地域行事への参加を増やしてけるようにする ○接遇に対する職員の意識付けを行い、来苑される方や地域の方との関わりを大切にしていきたい</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>全スタッフが、通い・訪問・泊りサービスと様々な場面で関わりや対応をすることがある。利用者や家族と関わる中で、情報収集できることも多い。知り得た情報は、皆で共有や整理し、ホーム長・ケアマネジャー中心に今後の対応に活かせるようにしていきたい。地域包括支援センターとも協力をし、利用者以外の地域の方にも関わり、相談しやすい事業所作りをしていく。</p>	<p>スタッフ間での知り得た情報の共有などは行ってきたが、ご利用者によってはその方の暮らしなどの理解や認識が薄いことも多く見られていた。</p>	<p>○今後は地域行事の参加を増やし交流を続けていただけたらと思います○地域の会議などの参加もどんどんお願いします○ACPの考えに沿って「本人が家で暮らし続ける」「本人の想いに寄り添う」を軸としてこれからも生活全般における支援をお願いします</p>	<p>○地域行事や会議などへの積極的な参加、交流を図っていくようにしたい</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>コロナウイルス感染症の状況にもよるが、定期的に対面での運営推進会議を開催し、よりよい施設づくりのためにも、意見交換し、必要に応じて改善していく。事業所の取り組みだけでなく、地域の取り組みにも参加できるよう協力をしていきたい。また、地域の心配な方に対しては、地域包括支援センターや町会長等と連携し、協力できるようにしていく。</p>	<p>今年度は対面開催が継続して実施できた。会議内にて頂いた意見や情報は、職員にも周知し改善できることは実施してきた。</p>	<p>○定例で運営推進会議を開催し、ご利用者家族、地域関係者の参加もあり、地域と共に問題共有、改善解決を図っておられる○取り組みや事例検討の報告を聞いてます○参加して事業所のことがよくわかるようになりました○ご利用者は参加されないのでしょうか？○完璧にいかなくてもご利用者やご家族が喜んでいただける回数が増えること、笑顔が増えるようにお願いします</p>	<p>○対面開催が実施できている中で、皆様からの意見や提案、情報をいただき、ご利用者、ご家族、地域住民の皆様、会長や包括支援センターと連携し協力できるように努める ○ご利用者やご家族の参加も増やして行けるようにしていきたい</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>BCP(事業継続計画)を作成、また都度見直しをし、それらを元に運営推進会議でも話し合い、さらに地域と協力体制を築いていきたい。また、コロナウイルス感染症の状況にもよるが、事業所の消防訓練にも地域の方に見学や参加してもらえようアプローチをしていきたい。引き続き、地域の防災訓練にも参加や協力をしていく。</p>	<p>BCPは作成し、職員へのフィードバックもしているが、研修などは行えていなかった。事業所での消防訓練も実施はしているが地域の方の参加や見学などは行えていない。地域行事での防災訓練の参加は行うことができた。</p>	<p>○運営推進会議にて会長や防災リーダーからいろいろ話を聞いています○地震災害が頻繁にあり、いつ起きてもおかしくない状況です、日ごろの訓練が大事なので是非とも防災訓練の参加をお願いします○職員全員で災害対策について再認識し、意識の向上、出来ることから推進し、身近に感じながら対策を立ててください○訓練の機会を増やし様子を教えてほしい(かめやん家新聞などで)</p>	<p>○BCP(事業継続計画)の訓練、避難訓練等、研修を継続的に行い、職員全員が身近に感じながら意識をもって対応していけるように努める</p>